

キーパー財務 13 (Ver5.0.2) 主な変更点

金額入力で仕訳を自動生成。簡易な入力機能「日報入力」を追加しました。

「日常処理」メニューに「日報入力」を追加しました。

こちらは医業会計オプションユーザー様にご好評の「窓口日報入力」を、「法人」・「個人(一般)」・「個人(不動産)」データでもご利用いただけるようにしたものになります。

病院・クリニックの外来窓口や店舗のレジなど、日々の入出金の集計結果を入力すると同時に仕訳が自動で生成される、非常に手軽で簡単な入力方式です。

設定

摘要の設定

表示順序: []

表示列名: 飲食売上

摘要: 本日現金売上高

取引先: []

借方科目: 1101 現金 [変更する]

補助: []

消費税: 810 課税対象外・不課税

貸方科目: 4101 売上高

補助: 1 飲食売上

消費税: 110 課税売上

日報入力の表示順序を登録します。

OK キャンセル

金額入力で仕訳を自動生成

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額	摘要	
証憑	コード	名称	部門	コード	名称	
12/04/01	1101	現金	810	4101	売上高	
				110	214,800	本日現金売上高
			1		10,228	飲食売上

キーパー財務 13 (Ver5.0.2) その他の変更点

◎ファイルー 環境設定

- ☑ 「入力設定」タブに「カーソル位置に文字列を追加する」という項目を追加しました。この項目にチェックすると、仕訳の摘要(取引先)欄に文字が設定されている状態で辞書呼び出し再選択したときに文字が追加されます。(チェックが無い場合は従来通り文字を置き換えます。)

①「カーソル位置に文字列を追加する」にチェックする。

環境設定

画面表示 [入力設定] | 出力設定 | 印刷設定(基本) | 印刷設定(帳票) | セキュリティ |

入力方法: 摘要優先 取引先優先 仕訳優先

摘要・取引先項目の制御: 摘要項目で摘要辞書を自動で開く
 摘要項目で連想摘要辞書を自動で開く
 取引先項目で取引先辞書を自動で開く
 取引先項目で連想取引先辞書を自動で開く
 入力しない

摘要・取引先項目の編集: カーソル位置に文字列を追加する

②摘要辞書を開く

貸方科目		金額	摘要
名称	部門	税	消費税
普通預金		810	120,000
三井住友銀行/本店			1月分

③摘要を選択する

④摘要欄に文字が追加される。

貸方科目		金額	摘要
名称	部門	税	消費税
普通預金		810	120,000
三井住友銀行/本店			1月分事務所家賃

◎日常処理ー 仕訳入力

- ☑ 「F3:行コピー」で開く「仕訳のコピー」画面の「編集項目」は、「日付」と「金額」にチェックが入った状態を初期値としました。(これにより、その場で設定を変更しない限り「日付→金額」の順にカーソル移動します。)
- ☑ 「F3:行コピー」実行後は日付欄にカーソルが置くよう仕様を変更します。
- ☑ 「F3:行コピー」及び「F4:一括登録」に、金額欄で「・(ピリオド)」を押すと「000」が入力される機能を追加しました。
- ☑ 「F3:行コピー」及び「F4:一括登録」に、摘要(取引先)欄でF2キーを押すと左右の矢印キーでセル内が移動できる機能を追加しました。

◎日常処理ー 総勘定元帳

- ☑ 印刷物の最終ページに年間総合計行が印字されるようになりました。
- ☑ 印刷物にページ番号を印字するかどうかを選択できるようになりました。
- ☑ 仕訳の訂正・追加の際に取引先欄でカナ変換のためF7キーを押すと、「取引先の履歴」画面が開いてしまっていたので修正しました。
- ☑ 「月毎に改ページする」にチェックして「繰越利益剰余金」元帳を印刷すると、「当期純利益」行の日付が適正に印字できていなかったのを修正しました。
- ☑ 本支店データで試算表から「法人全体」の元帳にジャンプした場合、本来「F3:行コピー」ボタンは無いはずが、ボタンが出てしまっていたので制御しました。

◎日常処理－ 仕訳帳／総勘定元帳

- ☑ 検索結果の合計を表形式で表示・印刷できるようになりました。

科目名	コード	繰越残高	借方金額	貸方金額	当月残高
現金	1101	47	92,342,277	91,918,120	524,204
当座預金	1102	2,751,000	12,100,000	12,028,700	2,822,300
三井住友銀行/本店	1	2,751,000	12,100,000	12,028,700	2,822,300
みずほ銀行/銀座	2	0	0	0	0
UFJ銀行/八重洲	3	0	0	0	0
普通預金	1112	5,320,300	40,167,000	39,500,270	5,987,030
三井住友銀行/本店	1	5,120,300	39,487,000	39,115,270	5,492,030
みずほ銀行/銀座	2	0	680,000	385,000	295,000
UFJ銀行/八重洲	3	200,000	0	0	200,000
定期預金	1122	4,400,000	2,000,000	0	6,400,000
三井住友銀行/本店	1	4,300,000	2,000,000	0	6,300,000
みずほ銀行/銀座	2	100,000	0	0	100,000

◎日常処理－ 合計残高試算表

- ☑ 科目残高月計表及び科目残高日計表を元帳形式で印刷する場合の日付欄が旧仕様の「年／月／日」のままだったので、新しい仕様の「月／日」に修正しました。

◎決算処理－ 決算書

- ☑ 個別注記表の初期値を更新しました。

◎決算処理－ 決算報告書

- ☑ 医療法人データで「初期設定－施設グループ設定」を行うことにより、決算報告書がグループ単位で作成できるようになりました。

◎決算処理－ 一括印刷

- ☑ 元帳に仕訳明細を印字せず、月計だけを印字することができるようになりました。

証憑	科目	税	繰越残高	税	借方金額	貸方金額	残高
							782,300
01/31				1月計	2,856,000	3,178,100	272,200
02/28				2月計	1,483,000	1,808,100	148,100

- ☑ 試算表の「印刷形式」を「全科目 (A4)」に設定した場合に、補助科目を展開して印刷するかどうかを選択できるようになりました。
- ☑ 残高0円の科目を試算表に印刷するかどうかを選択できるようになりました。

- ☑ 仕訳の無い残高のみの元帳(補助元帳)の場合、左上の年が適正に印字できていなかったのを修正しました。

◎決算処理－ 青色決算書

- ☑ “期中開始”の個人データ(一般・不動産)の場合、「過年度残高登録」で前期の「通期・下・4Q決算」列に「事業主貸」「事業主借」「元入金」の残高を設定すると、青色申告決算書4面が適正に出力できていなかったのを修正しました。

◎決算処理－ 繰越残高調整

- ☑ 「明細を取り込みます」にチェックを付けて実行すると「繰越残高調整に失敗しました。」というエラーが発生するケースがあったのを修正しました。

◎消費税－ 消費税集計表

- ☑ 「税抜残高」で集計する場合、「仮受消費税」「仮払消費税」の残高は税込入力の際のコード(「110」や「511」)にではなく、対応する消費税コード(「610」や「711」)に集計するようになりました。この変更により、「税抜残高」で集計した場合の合計欄は消費税額を含まない残高になります。
- ☑ 「消費税額」で集計する場合、「仮受消費税」「仮払消費税」科目を使って入力した分が集計できていなかったのを修正しました。

◎消費税－ 消費税申告書修正

- ☑ 付表2-2の修正により課税売上割合が95%以上から未満になる場合(又はその逆の場合)に項目⑬～⑰に数字が残ってしまうことがあったのを修正しました。
- ☑ 付表2-2の「課税売上割合が95%以上の場合⑬」の「旧税率適用分A」・「税率4%摘要分B」の値が表示されていなかったのを修正しました。

◎財務分析－ 予測損益計算書

- ☑ 医療法人データの場合、「法人全体」又は「施設グループ」で集計すると「事業収益合計」と「その他事業収益合計」が全て0円になっていたのを修正しました。

◎初期設定－ 基本設定

- ☑ 医療法人データの場合、「初期設定－基本設定」の「名称・期間」タブに「法人種別」と「基金制度」の区分を追加します。この機能追加により、「法人種別:社団」「基金制度:採用する」に設定すると、決算報告書や試算表において「資本金」を「基金」に読み替えて印字することができるようになります。

◎初期設定－ 科目設定

- ☑ マウスでコピー・ペーストして科目名を変更した場合に「登録」ボタンが有効になっていなかったのを修正しました。

◎初期設定－コード変更

- 補助科目数が1001以上あると、エラーが発生して以下の処理が実行できなかったのを修正しました。
- ・補助科目コードを変更する
 - ・補助を「使用しない」科目を「使用する」に変更する
 - ・補助を「使用する」科目を「使用しない」に変更する
 - ・補助科目の一部を削除する
 - ・補助科目を科目に移動する
 - ・科目を別の科目の補助に移動する
 - ・補助を別の科目の補助に移動する

◎拡張機能－摘要辞書設定／取引先辞書設定

- スペースのみの摘要(取引先)が登録できなくなっていたのを修正しました。